

SPA8000 電話アダプタの NAT サポート パラメータ 設定

目標

ネットワーク アドレス変換 (NAT) はプロセスです IP パケットヘッダーの再マッピング 1 IP アドレスの為にトラフィック ルーティング デバイスを渡る IP アドレスを送信中に修正する。 NAT が IP アドレスの競合を避けるために内部 IP アドレス 非表示を保存するのにセキュリティ 目的で使用されています。 この資料の目標は SPA8000 Analog Telephone Adapter の NAT サポート パラメータを設定することです。 NAT は NAT トポロジーを助けるパラメータ演劇をセッション開始プロトコル (SIP) の設定の重要な機能サポートします

。

適当なデバイス

- SPA8000

[Software Version]

- 6.1.12

NAT サポート パラメータ 設定

ステップ 1. 管理者として Web コンフィギュレーションユーティリティへのログインはログインを > 進みました > 音声 > SIP 『Admin』 を選択し。 SIP ページは開きます:

| SIP Parameters | | | |
|-------------------------------|------------------------|------------------------------|------------------------|
| Max Forward: | 70 | Max Redirection: | 5 |
| Max Auth: | 2 | SIP User Agent Name: | \$VERSION |
| SIP Server Name: | \$VERSION | SIP Reg User Agent Name: | |
| SIP Accept Language: | | DTMF Relay MIME Type: | application/dtmf-relay |
| Hook Flash MIME Type: | application/hook-flash | Remove Last Reg: | no |
| Use Compact Header: | no | Escape Display Name: | no |
| RFC 2543 Call Hold: | yes | Mark All AVT Packets: | yes |
| SIP TCP Port Min: | 5060 | SIP TCP Port Max: | 5080 |
| SIP TCP Port Min Mod2: | 5160 | SIP TCP Port Max Mod2: | 5180 |
| SIP TCP Port Min Mod3: | 5260 | SIP TCP Port Max Mod3: | 5280 |
| SIP TCP Port Min Mod4: | 5360 | SIP TCP Port Max Mod4: | 5380 |
| SIP Timer Values (sec) | | | |
| SIP T1: | .5 | SIP T2: | 4 |
| SIP T4: | 5 | SIP Timer B: | 32 |
| SIP Timer F: | 32 | SIP Timer H: | 32 |
| SIP Timer D: | 32 | SIP Timer J: | 32 |
| INVITE Expires: | 240 | ReINVITE Expires: | 30 |
| Reg Min Expires: | 1 | Reg Max Expires: | 7200 |
| Reg Retry Intvl: | 30 | Reg Retry Long Intvl: | 1200 |
| Reg Retry Random Delay: | | Reg Retry Long Random Delay: | |
| Reg Retry Intvl Cap: | | | |
| Response Status Code Handling | | | |
| SIT1 RSC: | | SIT2 RSC: | |
| SIT3 RSC: | | SIT4 RSC: | |
| Try Backup RSC: | | Retry Reg RSC: | |

NAT Support Parameters

| | | | |
|------------------------|--------------|------------------------|--------------|
| Handle VIA received: | no | Handle VIA rport: | no |
| Insert VIA received: | no | Insert VIA rport: | no |
| Substitute VIA Addr: | no | Send Resp To Src Port: | no |
| STUN Enable: | no | STUN Test Enable: | no |
| STUN Server: | 192.168.15.1 | TURN Server: | 192.168.14.3 |
| Auth Server: | 192.168.2.3 | EXT IP: | 192.168.0.3 |
| EXT RTP Port Min: | 1 | EXT RTP Port Min Mod2: | 3 |
| EXT RTP Port Min Mod3: | 4 | EXT RTP Port Min Mod4: | 5 |
| NAT Keep Alive Intvl: | 15 | | |

ステップ 2.アダプタがヘッダによつての受け取ったパラメータを処理することを可能にするために受け取ったドロップダウン リストによつてハンドルから『Yes』を選択して下さい。に設定されたそれから場合パラメータは無視されません。デフォルト値はいいえあります

ステップ 3.アダプタがヘッダによつての受け取った rport パラメータを処理することを可能にするために rport ドロップダウン リストによつてハンドルから『Yes』を選択して下さい。に設定されたそれから場合パラメータは無視されません。デフォルト値はいいえあります

ステップ 4. IP 値送信によるによつて IP 受け取からおよび異なる場合アダプタが SIP 応答のヘッダによつてに受け取った挿入パラメータを挿入することを可能にするために受け取ったドロップダウン リストによつて挿入から『Yes』を選択して下さい。デフォルトは no です。

ステップ 5. IP 値送信によるによつて IP 受け取からおよび異なる場合アダプタが SIP 応答のヘッダによつてに受け取った rport パラメータを挿入することを可能にするために rport ドロップダウン リストによつて挿入から『Yes』を選択して下さい。デフォルトは no です。

ステップ 6.ヘッダによつての NAT マッピングされた IP ポート値を利用するためにアドレスによつて代替から『Yes』を選択して下さい。デフォルト値はいいえあります

ステップ 7.送信 Resp からソース ポート ドロップダウン リストに『Yes』を選択して下さい。このオプションは応答がポート送信によつてによつての代りに要求 送信元ポートに送られるようにします。デフォルト値はいいえあります

ステップ 8. NAT マッピングを検出するために STUN イネーブル ドロップダウン リストから『Yes』を選択して下さい。デフォルトは no です。

ステップ 9: STUN イネーブル 機能がステップ 9 で有効になればおよび有効な STUN サーバが利用できれば、アダプタは動力を与えるときに NAT 型探索操作を行うことができます。それは設定された stun サーバを接続し、ディスカバリの結果はすべてのそれに続く Register 要求の警告ヘッダで報告されます。アダプタが対称 NAT か対称 ファイアウォールを検出する場合、NAT マッピングは無効になります。このフィールドのデフォルト値はいいえあります 値を YES に設定するために、STUN テスト イネーブル ドロップダウン リストから『Yes』を選択して下さい。

ステップ 10: STUN Server フィールドでは、NAT マッピング ディスカバリのために連絡するために STUN サーバの IP アドレスか完全修飾ドメイン ネームを入力して下さい。

ステップ 11. TURN サーバ フィールドで TURN (NAT のまわりのリレーを使用する横断) サーバを入力して下さい。TURN サーバは NAT の後ろのアプリケーションがデータを受け取るようにします。

ステップ 12： Authサーバ フィールドで Authサーバを入力して下さい。 Authサーバはデバイスのユーザ名 および パスワードを認証するのに使用される認証サーバです。

ステップ 13： EXT IP フィールドでは、すべての発信 SIP メッセージのアダプタの実際の IP アドレスを代わりにする外部 IPアドレスを入力して下さい。 デフォルト値は 0.0.0.0 です。 0.0.0.0 が入る場合、代替は実行された。

ステップ 14： EXT RTP ポート最小値で RTP ポート最小値の外部ポート マッピング数を入力して下さい。 このフィールドのデフォルト値はゼロです。 それがゼロではない場合、すべての発信 SIP メッセージの RTP ポート番号は外部 RTP ポート範囲の対応する ポート値の代わりになります。

ステップ 15： NAT マッピング キープ アライブ メッセージ間の間隔を提供する NAT キープ アライブ Intvl フィールドで値を入力して下さい。 NAT キープ アライブ メッセージは NAT デバイスの NAT マッピングの有効期限を防ぎます。 デフォルト値は15秒です。

ステップ 16： 設定を保存するために**すべての変更** 『SUBMIT』 をクリックして下さい。